

平成 21 年度障害者保健福祉推進事業

(障害者自立支援調査研究プロジェクト)

# オープンスタンダードとオープンソースによる 支援技術開発戦略の調査研究

平成 21 年度 研究報告書

**特定非営利活動法人 支援技術開発機構**

平成22(2010)年3月

# オープンスタンダードとオープンソースによる支援技術開発戦略の調査研究報告書

特定非営利活動法人支援技術開発機構

河村 宏

小山史子

服部いづみ

濱田麻邑

持田怜香

## 1. 調査研究の目的

障害者の情報支援において、高価な支援機器（ハードウェアとソフトウェア）の普及を進めることで対等の情報アクセスを保障するという従来の支援方法にたいして、先進国においても経済危機の中でその先行きを危惧し、別の途を求める声が強くなっている。そのような問題の解決策として推奨されるオープンスタンダードに基づくオープンソースソフトウェアについて、国際的な動向を把握するとともに、日本における実装可能性について実証的な評価を行い、知見をまとめると共に提言を行うことが研究の目的である。

## 2. 調査研究の概要

グローバルなデジタル・ディバイド解消のための戦略として推奨されるオープンスタンダードとオープンソース・ソフトウェア戦略を支援技術に応用するための研究を行った。

具体的には、国際的なデジタル・ディバイド解消戦略である国連世界情報社会サミットが合意した行動計画<sup>1</sup>と国連障害者権利条約を精査して、アクセシブルなマルチメディア<sup>2</sup>の国際的なオープンスタンダードであるDAISY (Digital Accessible Information System) と、支援技術と連携したユニバーサルデザインによるICT開発戦略の社会実装性の検証を行うことが電子出版の新たな勃興期において極めて重要であり、かつグローバルなインパクトを持ちうることを確信した。

一方、支援技術研究開発戦略の最近の動向を、米国、EU、アジア諸国および南アフリカについてWeb上の文献および人的ネットワークを通じて精査したところ、そこで改めて確認されたのは、高価なソフトを含む情報支援機器の普及

---

<sup>1</sup> 世界情報社会サミットの障害に関わる情報は、<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/prompt/wsis.html>

<sup>2</sup> 障害者権利条約 第2条

という手法では、すべての障害のある人々の社会参加は達成できないのではないかという「路線の見直し」の機運である。

支援の持続性および当事者参加等の面において、オープンスタンダードに基づくオープンソース戦略による「底上げ」によってすべての障害者の社会参加を推進しようという方途が途上国および工業国の貧困層を対象にグローバルに台頭していることが明らかになった。

DAISYコンソーシアムがグローバルに普及を推進する無償のDAISY規格は、先進国のみならず途上国への普及も同時に追求する過程で、多数の商業用再生ツールと共に無償のソフトウェアツールが共存する環境も生み出した。

実証実験のコンテンツは、義務教育年齢の読みに障害がある児童生徒の数だけでも数十万人におよぶと考えられる我が国において、合計2000万人に及ぶと考えられるすべての読むことに障害がある人々の支援を個別に生涯を通じて支援するのは不可能ではないとしても、極めて困難である。

そこで、これらの膨大な支援を必要とする人々に支援を提供する「仕事」を創造し、その障害者本人がその仕事によって職を得ると共に、最小の社会的コストで支援を必要な人に提供する方法を探った。

実証実験は、兵庫県LD親の会たつの子の協力を得て、地域の問題解決に関わるコンテンツ製作と発達障害者等の雇用創出の可能性を探る技術訓練のモデル作りとして実施した。

その結果、オープンスタンダードであるDAISYコンテンツ製作フローにおいてオープンソース・ソフトウェアを活用することにより、(1) 障害者の職域拡大、(2) 障害特性を活かしたユニークなコンテンツ作り、(3) 低い参入コスト、等の特長ある雇用創出と情報アクセス問題の解決が可能であることが示唆された。ただし、商品では無い無償のオープンソース・ソフトウェアを活用する前提として、そのソフトウェアのメンテナンスと普及を推進するコミュニティの形成と持続的な活動が必須であることも明らかにされた。

### 3. 研究成果

- 1) 国内外で最も普及していると思われるワープロソフトであるマイクロソフトWordに付加する無償のオープンソース・ソフトウェアであるSave as DAISY Translatorを用いてWord文書をDAISY化する技術の講習をLDの特徴を持つ青年たち10人を対象に実施し、全員が講習を修了した。
- 2) 技術移転の成果を確認するために防災マニュアルや教材など、地域で緊急性が高い文書のDAISY製作の課題に取り組み、全員が分担したDAISYコンテンツの製作を完了した。

- 3) 十分な配慮と支援体制を作ることによって、従来高度の研鑽を積んで製作してきたマルチメディアDAISYコンテンツ製作フローの中に、LDの青年が無償のソフトを活用して達成感を持って参加できる領域があることが確認された。
- 4) オープンスタンダードに基づくオープンソース・ソフトウェアの利点である低い参入障壁で達成感のある職域を拡大するために必要な技術研修のノウハウと、無償ソフトウェアの活用と普及のための前提条件としてしっかりしたメンテナンスとユーザーコミュニティの必要性が明らかにされた。
- 5) 移転された技術の証である製作されたDAISYコンテンツという眼に見える成果と共に、発達障害を共通にかかえる10名の青年たちの家族も含めたつながりが形成され、それを持続したいと言う思いは、DAISYを通じて社会に貢献したいというコミュニティの形成の萌芽ととらえることができる。
- 6) 従来の障害者支援機器は障害者が専用を用いる製品化して市場に出すことをもって普及とされてきたが、DAISYの日本における普及には、従来紙の印刷で行われてきた出版をDAISY形式の電子出版物（ユニバーサルデザイン）にするというもう一つの途があり、そこに障害者自身が達成感のある職域を得て参加できることが示唆された。

#### 4. 結論

アクセシブルなマルチメディアは、出版物のアクセシビリティを確保するために最も有望なアプローチであるだけでなく、ブロードバンド社会のあたらしいデジタル知識基盤として世界中で研究開発が活発に行われている。

この急速に発展する分野について、今回の研究成果をもとに、以下を提言する

- 1) 2011年6月に完了するDAISY 4の開発は、商業的電子出版のデファクト標準であるEPUB 3と連携して行われる予定であり、順調に開発が進めば、世界中の電子出版をDAISY技術によりアクセシブルなものにする大きな可能性を秘める。従って、産官学が国際的に連携して、このアクセシブルなデジタル知識基盤の開発を促進し、日本語が自由に使える国際的に開かれた情報環境のインフラ整備を推進することが、国連障害者権利条約の実現に資する。
- 2) 今回の実証実験で示唆されたDAISYコンテンツ製作フローにおける新たな職域開発の可能性をより確実なものにするためには、Save as DAISY Translator等のオープンソースのDAISY関連ツールの開発と障害特性に応じた最適化を支援することが必要である。

- 3) その上で、今回獲得した研修ノウハウをより一般化し、マニュアル化して体系的な研修機会を発達障害等の青年に提供するための研究開発を、ソフトウェア開発に連携させて進めることが重要である。
- 4) DAISYとEPUBの規格改定作業に並行して、発達障害等の青年の職域開発を目的とする新規格を取り入れたDAISY関連ツール、およびDAISY版のDAISYコンテンツ製作訓練マニュアルの開発を提言する。

# 神戸シンポジウム「読み・書き・パソコン」でしごとづくり

## —自立支援プロジェクト 21 報告会—

(平成21年度厚生労働省自立支援調査研究プロジェクト助成事業)

2010年2月27日(土)に神戸臨床研究情報センター第1研修室において、支援技術開発機構と兵庫県LD親の会「たつの子」共催の自立支援21報告会が開催された。当機構副理事長の河村宏から、基礎学力を「読み書きそろばん」と表していた時代から今や「読み・書き・パソコン」の時代であり、「読み・書き・パソコン」環境が学校や職場や家庭に整えば、多くの若者に就労の道が開けるという提案があった。視覚障害の人も読みの障害の人も、iPhoneを持っていれば電子図書が読める時代となった今、読むことができずにこれまで苦労してきた”読みに障害”のある人たちがいよいよ読めるようになる技術が発展してきた。あとは必要な情報など、コンテンツ制作の担い手の育成が課題として残されているため、最新のDAISY3規格によるDAISY図書制作技術を発達障害などをもつ青年達に挑戦してもらったという趣旨説明だった。

中央障害者施策推進協議会の会長としての記念講演があった。コンピューターによって、視覚障害者の生活、あるいは可能性が飛躍的に拡大したこと、コンピューターによって、昨日できなかったことが、今日できるようになり、あるいは、今日できなかったことが明日できるようになるという感動を何度も味わうことができたこと、自分達が必要な道具は、自分たちで作ることが可能になったという話だった。また、人に作ってもらおうと思っていたら、多分、そういう道具はなかなか出来なかったであろうとコメントされた。「読みたいと思いつける力」をばねに、自分が何をしたいか、ということから始めて、それを実現するためには何が必要で、それを実現するためにはまた何が必要でと、だんだん対象を広げ、結果的により複雑なものに、あるいは社会的なものになったという話だった。

青年達を支えた家族からは、子供と共通の目標を久しぶりにもてたこと、子離れ・親離れの時期に徐々に親子の会話が楽しめたこと、マイナス要因と思っていた子供のパソコンへの関心が実は子供の強みであることに気付いたこと、就労に向けて子供の強みがわかったこと、共通の目標に向かっている仲間がいて、親を含めた支援者がいるという安心感がある環境の中でこれからの見通しが少しできたことなどの報告があった。



まず、ビル・ゲイツ世代の石川准先生から、

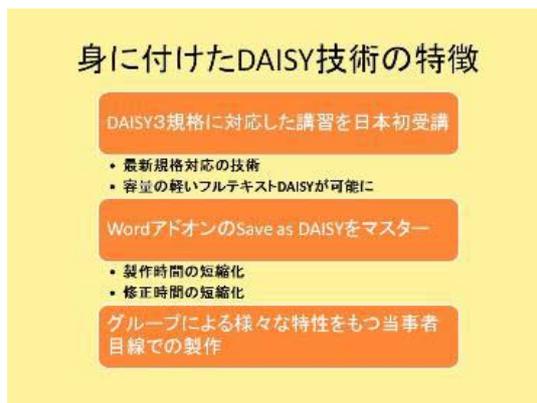
青年達は、分担した初めての共同作品「津波だ！いなむらの火をけすな」を公開した。「津波だ！いなむらの火をけすな」は紙芝居で内閣府が津波対策教材としてインターネットから配信しているコンテンツである。次に、最新のDAISY製作技術を身につけた青年達が自由な発想でDAISY版感想を披露した。



続いてパネルディスカッションでは、河村から世の中にDAISYを欲しいという人は山ほどいるし、DAISYにしなければ読めない大事な情報が山ほどあるということ、それとDAISY製作者とをどうやってつなげれば、仕事になるのかを今後の課題にしたいという話があった。

河村の話を受けて、パネリストからは、工夫次第でいっぱいニーズのあるDAISY図書製作を職業として成り立たせるには仕事

の割振りや校正、および発注者との連絡などマネジメントする人が必要であること、リモート操作もできるようになれば、パソコンを使った仕事はどんどん増えていくことが期待できること、製作者間でチームワークが求められるため、製作者はコミュニケーション力



をつけることなどのアドバイスがあった。

最後に、河村より、青年達が学んだ技術は、様々なニーズのある人全てと一緒に社会に参加できるようにしていくための非常に重要な技術の1つであること、それを是非皆の宝物にしてもらい、それを活かした仕事を将来的にってもらうことによって、世の中の、今まで社会に参加できなかった人が参加しやすくなれるのであれば、それはとてもやりがいのある仕事ではないかという締め言葉があった。

(服部記)



# たつの子 DAISY 製作基礎講習参加者の感想

## 1. DAISY作製の感想！！ —— 衛藤 秀明



DAISY製作を通して良かったことは、自分の作品ができあがったということです。  
苦勞したことは、打つことです、なぜなら僕は打つことが苦手だからです。  
さらに良くしたいことは、今まで以上に早くデイジーを作り上げて行きたいです。  
今後やってみたいことは、一つの作品をすべて一人で作り上げたいです。  
将来の夢はまだ決まっていませんが、DAISYを通じて決めていけたらいいです。  
DAISYで聞きたい物語は俳句、古文、軍記物語などです。  
最後にお仕事をして、お金をいただくことは大変だと思いました。

## 2. DAISY 製作を通して —— 奥谷 絵里

私は高校の時にパソコンに興味をもち、それ以来毎日のように使っています。パソコンで何か仕事が出来たらいいなあと思っていた時にこの「しごとプロジェクト」に出会いました。最初はできるかどうかすごく不安に思いながら、研修に参加していたのですが、何回かするうちに頑張ってみようという気持ちになりました。実際に仕事としてDAISY製作してみると文字入力は何とかできるのですが、自分の声で録音するのに苦勞しました。大きな声ではっきりと録音しないといけないのですが、早口になってしまったりしてなかなかうまくできませんでした。でも自分の作品として仕上がった時はとてもうれしかったです。これからは入力ミスがないように、また大きな声ではっきりと録音できるように頑張ろうと思います。

DAISYで製作されている「白雪姫」や「シンデレラ」などの物語があれば聞いてみたいです。また自分でもそういう物語の製作をしてみたいなあと思います。

DAISY製作で経験させていただいた事を活かして、将来パソコンを使った仕事に就くことが私の夢です。でも今は、このDAISYの仕事の続けてやれたらいいなあと思います。

## 3. DAISY講習会に参加した感想 —— 神園 楓加

この講習を受けてよかったことは、文章に音声を入れたり見やすくするための工夫をするということで、色々な方々に手軽に読んでもらえるということにすごく感心し、とてもわくわくしました。苦勞したことは、自分の声を入力することです。音声のレベルを調整するのがとても難しかったです。私が、このDAISYというものを通してやってみたいことは、色々な人々に楽しんでもらうため、難しい本ばかりではなく、子供向け、大人向けの楽しい物語をデイジー化してみたいと思います。文字が読めない子供たちや大人の人たちのために、少しでも助けになればいいなあと思うからです。私はまだまだ未熟なので、もう少し勉強しながらがんばろうと思います。

## 4. 柴田 燎平

### 1. DAISY 製作を通して、よかったこと

DAISY 製作をしたことによりパソコンの使い方が色々と増えたことです。今まではインターネットを使って本を読んだり、音楽を聴いたり、ワードやエクセルを使用したり学校の調べ物などで使用していただけでしたが、DAISY 製作をすること

でパソコンの利用方法を色々と学ぶことができました。

## 2. DAISY 製作を通して苦労したこと

学校の行事が重なったりしてお休みしたり、講習に遅れたり、家のパソコンの容量が少なく課題ができなかったり、みんなと同じようにしていくのが大変でした。それと DAISY 製作の要である、声を入力する部分で思うように声が出ず大変でした。

## 3. DAISY 製作をしてみて、さらによくしたいこと

今のままで良いと思います。

## 4. 今後やってみたいこと

四月から大学に進学しますが、機会と時間があれば、DAISY 製作をしてみたいと思います。

## 5. 将来の夢

わかりません。大学の四年間の中で探してみようと思います。

## 6. DAISY で聞きたい物語

特になにもありません。

## 5. DAISY 製作についての感想 —— S.T.

### DAISY 製作を通して、よかったことは

プロップ・ステーションの菊田先生や、ATDO の濱田先生にパソコンのこと(WORD、インターネット、JTrim、PDF)や DAISY について詳しく教えてもらえたことです。高校では情報学科なので、パソコンの操作には慣れていましたが、知らないことがたくさんありました。

実際の DAISY 製作では、紙芝居の「いなむらの火」できたことがよかったです。



の録音が最後うまく完成

### DAISY 製作を通して、苦労したことは

DAISY で紙芝居の録音をやり直すところに苦労したので大変でした。

ました。何度も読み直し

### DAISY 製作をしてみて、さらによくしたいことは

オリジナルの本の内容を DAISY にするまでに、文とにまだ慣れていないので、練習を重ねたいと思います。また、録音をするときには、字を間違えずゆっくりと丁寧に最後まで読むようにしたいです。

字や絵をWORD化するこ

### 今後、やってみたいことは

WORD を使って文書入力や作成の練習をたくさんやりたいです。そして、文章が早く打てるようにいろいろ練習したいです。

### 将来の夢は

今回の DAISY 制作は少し難しかったですが、将来はパソコンでいろんなことをしたいと思います。

### DAISY で聞きたい物語は

英語の文章です。理由は、英語は好きだけど、発音が難しいので DAISY で聞けるとうれしいと思います。以上です。

## 6. DAISY 感想文 —— 西村 真幸



ご来場の皆様、本日はお忙しい中ご来場いただき誠にありがとうございます。私は「しごとプロジェクト」で DAISY 図書を作成しております西村真幸と申します。

私が DAISY 図書の製作に携わろうとしたきっかけを申しますと、現在、大学で情報系を専攻しているのですが、「今勉強していることで何ができるのだろう」と考えていますと、母からこのような活動があると聞き、興味が湧いたため参加することになりました。

初めはワードから DAISY 図書に変換して合成音声で読ませるだけでしたが、今では自分たちで音声を録音する所までできるようになりました。私は大学のサークルで演劇をやっていますので、声で感情を表現する経験を活かせる機会ができてよかったです。

しかし音声を録音する上で操作から起こるバグといった問題、声割れ・雑音といった技術的な問題に頭を悩まされました。今後はこれらの問題に対処しつつ、品質の良い DAISY 図書を製作していこうと思います。そしてこれは、私の将来の夢である「声優」

になるための小さな一歩だと思しますので、この一歩を大きな一歩にできるようがんばります。

以上で私の発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。（拍手をお願いします。）

## 7. DAISYの講習を終えて —— 平野 和寛

僕は、これまでのDAISYの講習を通して、色々な事を勉強しました。

最初受けるまでは、何か自分にも出来る事を増やしたいなと思っていましたが、DAISYという物を教わって、学んで、作って・・・と、何か自分にはこういう事が出来るのかという自信がいつの間にかつきました。

最初の頃は、ワードの使い方を学ぶ授業が多かったのですが、スタイルの付け方や、名刺の作り方など、それも身についたような気がします。

それでも、相手がどのような形を望んでいるか、例えばどの文にスタイルをつけるべきとか、画像の大きさはこれでいいのかとか、細かい所でかなり悩みました。

作っていく上で、この面に関してもなるべく早く判断できるようになりたいです。

自分達が今まで作ってきたDAISYは、個人的な目で見ると、障害者用という側面がどうしても強いので、一般の人でも気軽に使えるものを作りたいです。

出来ることなら、この講習でやった事を生かして、独創性溢れるものを作りたいです。

そして、いつかDAISYを使って自分の人生物語みたいなものを作りたいなとも思っています。

## 8. DAISY 製作を通して——

DAISY 製作を通してよかったことは、音声読み上げという新しい情報伝達方法について詳しく知ることができたという事、そして自分のコンピュータ使用に関するスキルを視覚障害などの人たちのために活用できたと感じる事が出来たということです。DAISY 製作を通して、苦労したことは、音声の録音の時の操作が複雑だったため、最初は上手く音声をまとめる事が難しかったことと、DAISY 作品をいくつか製作するとパソコンに保存する際のフォルダ分けの時に他の作品が混ざる事が多かったことです。DAISY 製作をしてみて、さらによくしたいことは、時間をかけずに DAISY 作品の製作ができるようにしたいことです。今後、やってみたいことは、製作した DAISY 作品を実際に視覚障害などがある人た

ちに読んでもらって上手く読む事が出来たかどうかを評価してもらおうことです。将来の夢は、行政書士の資格を取って法律関係の仕事に就くことです。DAISY で聞きたい物語は、ユゴーの『レ・ミゼラブル』です。

## 9. DAISY 製作をして――

DAISY 製作をしてよかったことはパソコンの知識の幅が広がったことです。例えば、画像の入れ方や音声の入れ方は学校ではなかったことがなかったので DAISY をして知識が広がり、楽しかったです。

最初はできるか不安でしたが指導していただくにつれできないと思っていたものがだんだんできるようになっていき、うれしかったです。

苦労したことは授業中にパソコンの操作をしているときに操作をしながら前の画面をなかなか見ることができずに授業のペースに遅れてしまうことがありました。そして、EASE PUBLISHER での音声の録音をするときに間違えずに読むことや音声とテキストをあわせる編集が難しかったです。肺がんの製作をしたときにはセンテンスを編集しても編集してもハイライトがとび苦勞しました。

これからは、いろんなアドバイスいただいた言葉をいかして短時間で作っていけるようにするのが目標です。

DAISY をしてよりパソコンが好きになったので将来はパソコンを使った仕事ができればと思っています。

僕は推理小説が好きで東野圭吾の本をよく読みます。そういう小説などもどんどん DAISY 化されているいろんな人がいろんな本を読めるようになればいいなと思います。

## 10. DAISY 製作をして感じたこと ―― 箭内 啄哉

僕は、去年の4月から専門学校でコンピュータのは、パソコンを使った仕事がしたいと思っていました。たつの子からパソコンを使った DAISY 製作のようと思いました。

実際に DAISY 製作を習ってみると、Word ですが、フォルダを作ったり保存先を決めたりするのそれと、自分の声をマイクで録音するときに、文たです。

でも、DAISY 図書が完成したときは、とてもうれこれからも、DAISY 製作を続けてみたいと思っ



勉強をしています。将来す。そして、去年の夏に、話を聞いて、参加してみ

入力することはできますが難しかったです。章を読むのが難しかっ

しかったです。ています。

## 11. プロジェクトを支えた親たちの感想

- ◆ 今回の「おしごとプロジェクト」では、たつの子の参加メンバー10名全員(17～24歳)が、途中で離脱することもなく長期間に亘ってDAISY製作を習得する努力を続けることができました。これには保護者の応援も必要でしたが、ATDOの方々やたつの子の役員・スタッフの方々の手厚いサポートがあったからこそだと、大変感謝しております。

DAISY製作の技術は高度であり、それを完全に習熟すれば確かにひとつの職業として成り立つように思います。しかし、たつの子のメンバーがそのレベルに到達するには、これからもトライアンドエラーを繰り返しながら様々な題材をDAISY化して、技術を自分のものとする必要があるでしょう。

今回のプロジェクトの成果が、今後何らかの活動に結びつくことができたら…と思います。

- ◆ これから先の就労のことに悩んでいた時、プロジェクトに参加させて頂く事が出来ました。苦手な事の時間管理が出来ようになり、パソコンを打つ事が、好きになり、その変化に、親である私も、びっくりし、子どもの成長を喜んでいます。働いて、賃金を得ることの、大変さと大切さも知ることができ、とても、有意義な時間を親子共にすごせ

ました。今後も続けていけたらと思っています。

- ◆ 娘は不登校だった時期が長く、当時から毎日多くの時間をパソコンの前で過ごしています。人と関わる仕事は難しいだろうと思っていましたし、パソコンを使った仕事ができたらいいなと考えていましたので、今回本当にありがたかったです。  
講習の3ヶ月もやり通せるのか不安でしたが、とてもよく頑張りました。しかし、仕事を始めて色々と課題が見えてきました。パソコンはある程度できると、私が本人に何もかもを任せ過ぎてしまったのが原因でした。まずは次々とくる仕事の指示メールを処理できなかったこと、また自分の仕事を整理し、管理する事や、仕上げるまでの段取りを考える事が上手くできませんでした。高校のレポートや試験勉強も重なって、何からやればいいのかの優先順位をつけることができず、「もうできないかもしれない」と何度も自信を失いかけてきました。その度に、たつの子のスタッフの方々、ATDOの皆さんにフォローしていただきました。ひとつずつ課題を片付けるよう見通しをもたせて取り組ませることにより、落ち着いてきました。昔に比べると成長し、できることが増えていた娘を大丈夫と錯覚した私の失敗でした。そういった意味でも、就労に向けての課題が見えた貴重な体験となりました。本当にありがとうございました。
- ◆ 昨年の夏、会報で、プロジェクト募集のプリントを拝見し、就活を目の前にしている息子を持つ保護者として、とても興味深く、子どもと相談し参加させていただくことに致しました。講習をわかりやすく丁寧にいただき、半年が過ぎた今では、DAISY図書の製作ができるまでになりました。月に1~2度、朝から夕方まで親子で参加するのは少々大変でしたが、同じような悩みを持って歩んできた他の保護者の方々との交流や、家や学校とは違う場所で子どもたちが社会参加でき、とても有意義な時間を持てました。子どもは、技術だけでなく様々な刺激をいただけたと思います。これからの自立へ向けた1歩になってくれることと確信しています。ありがとうございました。
- ◆ パソコンを使って何かできる仕事があれば、という思いで実際に仕事を探していたのですが現実には厳しいです。面接で自分の思いをうまく相手に伝えることが出来ず中々いい結果ももらえない……。そんな時にこのプロジェクトに参加させて頂く事になりました。人とコミュニケーションをとるのが苦手な私達の子どものにもなんとか仕事をさせてやりたいという思いからこのプロジェクトを立ち上げて下さったとのこと…本当に感謝します。貴重な体験をさせていただきどうもありがとうございました。
- ◆ 色々な場面でサポートが必要となる息子が、DAISYの製作技術を身につけることで、就労に繋がるかもしれないという希望と、自分と異なる困難のある方の手助けができる喜びを、息子に味わってほしいという思いからプロジェクトに参加することを息子に勧めました。息子はDAISY製作に興味を持った様子で、「参加する」と、何の迷いもなく即答し、参加することになりました。  
しかし、言葉で表現することが苦手という意識が強いためか、極限まで先生に問合せすることなく、何とか自分の力で解決しようと努力しています。実際の就労現場で一つの作業に何日も時間を費やすことや、分からないまま仕事を中断することは許されません。誰かに聞くことで仕事がスムーズに進むということも、問題解決力を向上させる方法の一つだと息子に理解させることを今後の課題にしたいと思います。  
最後に、シンポジウムに参加してDAISY製作のニーズが、高いことは容易に想像できましたが、仕事の依頼を取ってくることは困難なため、行政や企業に橋渡しをしてくれる存在が必要になると思いました。DAISY製作が就労に結びつくようになると、発達障害者だけでなく他の障害を抱える方、高齢者、一般の方などもDAISY製作に携わるようになるかもしれません。  
シンポジウムでの作品発表は、参加者それぞれの個性がよく表れていて、微笑ましい光景でしたが、生存競争に打ち勝つためには、DAISY報告会で発表されたレベルの作品では、とても太刀打ちできません。利用者それぞれのニーズに対応したDAISY図書を製作するために、更に知識を深め改善の努力が必要だと息子に発破をかけたと思いました。
- ◆ 息子は現在高3で定時制の多部制の高校に通学しています。パソコンに興味もち始めたのが小学校5年生くらいからでした。社会の授業でインターネットを使って調べることが多くなり段々とパソコンの世界に入り込んで行きました。ポケモンゲームは大好きで今でも続いています。  
目からの情報が入り易く、反対に静かでないと耳から聞き取る情報はとても苦手という特性があります。今回の講習では、いつもプリントを配布して下さりとても助かりました。自宅でもそのプリントを見ながら1人で製作ができま

した。

しかし、分からない所を文章にするのが、とても苦手で、話し合っ中て息子の困っている点を見つけ私がメールを送る事も多かったです。又、初めての場所に行くときは私が同行しなければなりません。一度行った場所なら1人でも大丈夫なのですが、同じ建物でも階が違ふとどうしたらいいのか分からず私に助けを求めて電話してきたこともありましたが、その日の宿題など大切な事を聞き逃したりしていました。

今回参加して、息子と久しぶりに一緒に行動する中てパソコン以外のたくさんる事も親子で経験させて頂きました。電車に乗り、乗り越し代金の機械の使い方やどの交通手段を使えば安いか早いかなど。今思えば私も一緒に社会生活をもう一度勉強しなおしていたように思います。初めて出会うお母さんとの情報交換も、楽しい時間でした。パソコンが大好きで困った時期もありましたが今は将来の事を考える一つの大切な道具になりました。高校で情報の授業を取っていますが昨年ワープロ検定1級の資格に挑戦し苦勞の末合格できた経験は自信につながり、生徒会の仕事の手伝いをするようになりました。今、情報システムに興味があり、将来自分でゲームを作りたいという夢もあるようです。働くこと、社会で生きることの見通しを少しずつ考えるようにもなりました。卒業は来年です。進路は大学希望です。息子の仲間には大学生もいて聞きたいこともあるようで、これからもこの講習で知り合った縁を親として繋げていってあげたいなあと思っています。この機会を下さった ATDO さんの方々やプロップステーションの方々そして、たつの子の方々に感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。子ども達全員が最後まで頑張れたのはたつの子の方々の細かな励ましのおかげです。これからも見守って頂けると嬉しいです。

- ◆ 初めてDAISYのことを聞いたときは、便利なものがあるんだなという思いだけでしたが、外国での取り組みを聞き、障害者への支援の手厚さに驚きました。いざDAISY製作を始めてみると、息子のパソコンに対しての得意な点や苦手な部分が見えてきました。PCは全く経験がない私ですが、息子の苦手部分を補うことが出来れば…と途中から二人三脚で進めてきました。これからの課題は、息子が「仕事」というものをもっと理解し、意欲的に出来るようになることだと思います。この半年間、たつの子の皆さん、ATDO の方々に本当に丁寧に教えていただき、ありがとうございました。子供にとっても貴重な経験だったと思いますし、これからは繋げて行きたいと思います。

## たつの子 DAISY 製作基礎講習日誌

日 付 2009/9/6  
 記入者名\_ 山中香奈 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 菊田、濱田 講師補佐係 山中、高妻  
 サブ講師 尾本、猿木 録画担当者\_ 清水、山本

本日の講習内容 (テキスト)	ワードの基本操作(ファイルの作成・保存) テキストを見て文字入力(速度の確認) ファルダ作成、ファイル管理 AMIS のダウンロード、インストール デイジー図書のインストール AMIS の操作方法			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	菊田講師: テキストを先に配布するとそちらに意識が集中しやすいので、その都度、テキストを配布したい。皆さん、思った以上に技術が高い。  保護者: 作業に集中しているときは「あと1分後にやめましょう」などの声かけが必要である。もう少し厳しくてもいいくらいという声があった。  スタッフ: 受講生の携帯番号、アドレスを確認。欠席などの連絡や困ったら、Kさんに連絡。
MY	出席	出席	特になし	
NM	出席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	出席	出席	特になし	
SR	欠席	欠席	欠席	

日 付 2009/9/13  
 記入者名\_ 山中香奈 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 菊田 講師補佐係 山中、高妻  
 サブ講師 尾本、猿木 録画担当者\_ 山本、村上

本日の講習内容 (テキスト)	スタイルについて、テキストにスタイルを設定 ワードに画像を挿入、代替テキスト(alt 属性)をつける、ワード上で画像の修正・最適化 プリントスクリーンで web 画面のはりつけトリミング 右クリック、図の書式設定からのトリミング、代替文字列の入力			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	菊田講師: 入力に関して個人差が大きい。講習内容のポイントについては午前中にほとんど説明しているので、午後の講義では理解して入力できる人はどんどん先に進めてもらおう。そのほうが本人も楽しいだろう。  保護者: 子どもは講習会が気に入って楽しみにしている。  スタッフ: 午前中の講義がかなり早く進んでいるように思えたが、午後の授業で繰り返し、子どもも慣れてきたようだ。
MY	欠席	欠席	欠席	
NM	欠席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	出席	出席	特になし	

SR	欠席	欠席	欠席	午後の入力スタイルにかなりの差があることがわかった。講義だけでなく、入力を練習してこることも必要。講師の説明を聞くと言うより、配布テキストに目が行く。
----	----	----	----	---

日 付 2009/9/27  
 記入者名\_ 山中香奈 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 菊田 講師補佐係 山中、高妻  
 サブ講師 尾本、猿木 録画担当者 山本、清水

本日の講習内容	スタイル・画像の挿入の復習 Jtrim の基本操作、写真の加工			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	保護者： 家庭学習を促すために宿題がほしい  スタッフ： 保護者の希望により簡単な宿題を講師と相談の上、作成 Jtrim のダウンロード写真を円形に切り抜き、縦 200 ピクセルにトリミング
MY	出席	出席	特になし	
NM	出席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	欠席	欠席	欠席	
EH	出席	出席	特になし	
SR	欠席	欠席	欠席	

日 付 2009/10/3  
 記入者名\_ 山中香奈 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 菊田 講師補佐係 山中、高妻  
 サブ講師 尾本、猿木 録画担当者 村上、清水

本日の講習内容	PDF ファイルから、ワードへ			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	菊田講師： 二人、授業に遅れがあり、気になる  保護者： A 君の様子を後から見る限り、マイペースだが操作に関してはきちんとできている。ただ、説明が理解できるようにとゆっくり解説しながら進めていただいているのに、どんどん先に入力してしまうので途中で間違ってしまった時に混乱してしまう様子。これは A 君に限らずいえることなので、つかえてしまう人は解説をしっかりと聞きながら先生の進めるペースで入力するように声をかける  スタッフ： 猿木先生が居眠りを起こしても又寝てしまうので何とかありませんか？と言われ、何度か起こしに行った。集中力が途切れる午後に居眠りがある。注意喚起が必要
MY	欠席	欠席	欠席	
NM	欠席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	出席	出席	特になし	
SR	欠席	欠席	欠席	

日 付 2009/10/17  
 記入者名\_ 村上和子 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 濱田 講師補佐係 高妻、清水  
 サブ講師 菊田、服部 録画担当者 村上、松本

本日の講習内容	河村さんの話、製作ソフトのインストール ワードから DAISY 保存、合成音声で DAISY 図書作成 宿題: 演習2・3、顔写真入り名刺を次回作成するので写真持参			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	保護者: 音声ができることで DAISY 製作の意欲がでてきたのか、笑顔が見られた。  スタッフ: 札幌チャレンジドで使用していたデスクトップ PC を希望者に提供できるとのこと。希望者は 6 名 S 君の遅れが気になる。講師の説明についていけず、テキストを見ながらの作業が目立つ。
MY	出席	出席	特になし	
NM	欠席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	遅刻	出席	特になし	
SR	遅刻	欠席	欠席	

日 付 2009/10/24  
 記入者名\_ 村上和子 場 所 プロップ・ステーション  
 講師\_ 菊田 講師補佐係 高妻、山中  
 サブ講師 尾本、猿木 録画担当者\_ 村上、清水

本日の講習内容	10月3日の宿題の開設と質問 ワードのテンプレートを活用して共通の名刺作成 オンラインにある好きなテンプレートを利用した名刺を作成			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	菊田講師: わからない箇所まで焦ってクリックをしまくる人がいます。まずは落ち着いて確認してから先に進みましょう。  保護者: 文化祭などの時期で欠席者が目立った。スタイルを設定する際に何を優先すればいいのか決めるのが難しいと感じた。自分の名刺作成ということもあり、意欲的に楽しそうにとり組んでいた。  スタッフ: 欠席したときの USB の受け渡しが困難、忘れないように周知。宿題は忘れないのだが、名刺用の写真を忘れてきた子が 5 人いた。持ち物も再度連絡が必要。
MY	欠席	欠席	特になし	
NM	欠席	欠席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	欠席	欠席	特になし	
SR	欠席	欠席	特になし	

日 付 2009/11/7  
 記入者名\_ 村上和子 場 所 プロップ・ステーション  
 講師\_ 濱田 講師補佐係 高妻  
 サブ講師 菊田、服部 録画担当者\_ 村上、清水

本日の講習内容	DAISY .xml から DAISY ファイルセット作成、SigtunaDAR3 とマイクで人の声の録音、メタデータ(書誌情報)の入力・ビルド 宿題: デイジー図書製作2つ、わからないことはメモすること			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	保護者: すらすらと文章を朗読するのが結構難しく、(漢字の読み間違え等)、自分の声で録音するのが大変そうだったが、マイクを使って楽しそうにとり組んでいた。本格的な内容になり、欠席したときのフォローが大変だと思いました。出席していても家で復習を積み重ねて習得する意欲が大切だと思います。
MY	出席	出席	欠席	
NM	欠席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	

HK	欠席	欠席	特になし	スタッフ: 宿題は「わかるところまでやってくる」ではなく、「～までやること」と細かい指示が必要。わからないのでやりませんでしたという人がいるので、
TS	出席	出席	特になし	
EH	出席	出席	特になし	
SR	欠席	欠席		

日 付 2009/11/21  
 記入者名\_ 山中香奈 場 所 プロップ・ステーション  
 講 師\_ 濱田 講師補佐係\_ 高妻、山中  
 サブ講師 菊田、小山、服部 録画担当者\_ 村上、清水

本日の講習内容	パソコンのセットアップ、テキストをみながら自分でデジ図書作成の演習 宿題:5人で1チームになり、それぞれの課題を分担、次回全員提出すれば2つの製作物がデジ化(たつの子震災・DAISYを語る)			
受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	保護者: 皆のお揃いのPCを持ち、嬉しそうだったが、自宅どこまで製作できるか不安です。今後、このPCがゲットできるように仕事を頑張ってもらいたい。  スタッフ: PCが配布され、今後がんばってほしいです。仕事としてデジ図書を製作してATDOに納品することになりましたが、わからない所があると前に進めないで、今後フォローアップ講習が必要です。
MY	出席	出席	特になし	
NM	欠席	欠席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	遅刻	出席	特になし	
SR	遅刻	出席	特になし	

日 付 2009/12/5 フォロアップ その1  
 記入者名\_ 山中香奈  
 講 師\_ 濱田 講師補佐係\_ 山中  
 サブ講師 小山 録画担当者\_

本日の講習内容	宿題:「稲村の火」の紙芝居を分担し、各自がメール添付で提出することに。個別の課題を設定した。		
受講者	13時~17時		特記
MI	欠席		スタッフ: 欠席者が多かったのは、急遽日程を決めたためと思われます。メールの扱いを知らない子どもも多く、メールの勉強をしました。アドレス取得が自宅で困難な2人に対してgmailでの取得をしました。ドルフィンパブリッシャーのインストールが完全ではなかった人もいたため、27日に確認が必要です。
MY	欠席		
NM	欠席		
YT	出席	gmail アドレス取得	
OE	出席		
KF	遅刻		
HK	出席	宿題 OK	
TS	出席	宿題 OK	
EH	出席	宿題 OK	
SR	出席	gmail アドレス取得	

日 付 2009/12/27 フォロアップ その2  
 記入者名\_ 山中香奈  
 講 師\_ 濱田 講師補佐係\_ 山中  
 サブ講師 小山、服部 録画担当者\_

本日の講習内容	録音設定の変更、作成時の注意事項(画像の大きさの統一、音ヘルツの統一、ファイル名の付け方の確認) 宿題:個別の課題、「稲村の火を消すな」、がんシリーズ、「DAISYを語る」
---------	---

受講者	10時~12時		特記
MI	欠席	大学のテストが終わるまで休み	<b>保護者:</b> 提出済みの「稲村の火を消すな」を発表してもらい感動しました。  <b>スタッフ:</b> 子どもたちの実力に差が大きくなってきているようです。かなりつきっきりでの指導をお願いしないとできない子もいて今後の指導に不安があります。  製作した物はインターネットディスクの各自のフォルダにアップすること。アップしたら連絡を ATDO に入れること。ATDO で校正したら、修正をすること。
MY	出席	「肺がん」担当	
NM	出席	「UD 防災」音声	
YT	出席	「稲村の火」未提出	
OE	出席	「稲村の火」提出	
KF	出席	「UD 防災」テキスト提出	
HK	出席	「相談支援」担当	
TS	出席	「がんと心」担当	
EH	出席	「稲村の火」未提出	
SR	出席	「稲村の火」未提出	

日 付 2010/1/24 **フォローアップ その3**  
 記入者名\_ 山中香奈  
 講師\_ 濱田 講師補佐係\_ 山中  
 サブ講師\_ 小山、服部 録画担当者\_

受講者	10時~17時		特記
本日の講習内容			ページナンバーの設定、見出し編集やテキスト修正の方法、画像の修正や挿入方法
MI	欠席	大学のテストが終わるまで休み	<b>保護者:</b> いろんな作品を製作して、沢山のトラブルに遭遇し経験を積んで、習得していけるものだと実感しています。前向きに頑張ってもらいたいものです。  <b>スタッフ:</b> どこに何が入っているのか自分の作ったファイルがどこにあるのかわからない子が多く、フォルダ整理が難しいようです。濱田先生にみてもらってよかったです。S君に次、何をさせたらいいのかご検討いただきたいです。
MY	出席	「肺がん」提出、英語 Lesson246	
NM	出席	「UD 防災」提出	
YT	出席	「稲村の火」提出、「忘れへんで」11~14	
OE	出席		
KF	出席	「DAISY を語る」提出、Lesson78	
HK	出席	「相談支援」提出	
TS	出席	「がんと心」提出、英語 Lesson36	
EH	出席	「稲村の火」提出	
SR	出席	「稲村の火」提出	

日 付 2010/2/7 **フォローアップ その4**  
 記入者名\_ 山中香奈  
 講師\_ 濱田 講師補佐係\_ 山中  
 サブ講師\_ 小山 録画担当者\_

受講者	10時~17時		特記
本日の講習内容			宿題:「稲村の火」の紙芝居を分担し、各自がメール添付で提出することに。個別の課題を設定した。
MI	出席	感想提出、写真、ページとり、TTS	<b>スタッフ:</b> 今のペースにあわせられなくなっている子が気になります。保護者と一緒に子どものペースをつかんで1歩でも半歩でも進められたらと思います。  課題割り振り
MY	出席	感想提出	
NM	出席	感想提出	
YT	出席	感想提出	
OE	出席	感想提出	
KF	遅刻		
HK	出席	感想提出	

TS	出席		
EH	出席	感想提出	
SR	出席	感想提出	

日 付 2010/2/21 フォロアアップ その5

記入者名\_ 山中香奈

講 師\_ 小山 講師補佐係\_ 山中

サブ講師 服部 録画担当者\_

本日の講習内容	各自の課題を校正、修正、個別対応 午後からはシンポジウム発表準備 宿題: 各自の感想を完成させる		
受講者	13時~17時		特記
MI	出席	「大腸がん」	保護者: シンポジウムでプロジェクトの流れを図式化したらいい。青年達からも感想 DAISY だけでなく、一言ずつしゃべってもらったらどうか。  スタッフ: いつの間にか、親もフォロアアップにはついてくるようになった。子どものモチベーション維持に親の存在は欠かせない。本人の関心も高まっているが、親が子どもをケアすることも必要である。
MY	出席	「地理教科書」	
NM	出席	「地理教科書」	
YT	遅刻	感想完成	
OE	出席	「忘れへんで」	
KF	出席	「英語教科書」	
HK	出席	「地理教科書」	
TS	出席	「英語教科書」「がんと心」	
EH	出席	「自閉症ライフ」	
SR	出席		

日 付 2010/3/13 フォロアアップ その6

記入者名\_ 村上和子

講 師\_ 山中 講師補佐係\_

サブ講師 村上・高妻 録画担当者\_

本日の講習内容	各自担当作品の製作の続き(合成音声の修正など)		
受講者	10時~17時		特記
MI	欠席		保護者: 製作時間にかかなりの個人差があり、個人に合わせて指導していくことや、校正など、とても大変だと実感いたしました。
MY	出席		
NM	欠席		
YT	出席		
OE	出席		
KF	出席		
HK	出席		
TS	欠席		
EH	出席		
SR	出席		

日 付 2010/3/22 パソコン講習最終日

記入者名\_ 村上和子 場 所 プロップ・ステーション

講 師\_ 濱田 講師補佐係\_ 高妻、山中

サブ講師 菊田、服部 録画担当者\_ 村上、清水

本日の講習内容	午前中は、デージー図書に音声を入力する方法を勉強した。 午後からは感想会で、青年達が自分の自信作を発表し、製作過程で苦労した点、解決方法などを発表した。
---------	---

受講者	午前	午後	休み時間	特記
MI	出席	出席	特になし	<p>保護者:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい部分にまでこだわって仕上げた子どもたちの半年間の成果である製作作品の発表を見て、大変感動いたしました。子どもたちの性格や家での関わりの差により、製作スピードやスキルにかなりの差ができていたことも実感しました。いろいろな個性がある子どもたちですが、フォローがあればできるようになる事もあるので、だからこそ、周りの関わりが大切であると実感しました。</li> <li>・自分の子どもも大きくなったら、皆さんのような会話をするのかと思いますながら楽しせてもらいました。私はパソコンが嫌いではないので、これからも何らかの支えになればいいなと思います。ただ、皆さんのやる気も重要なので、技術をどんどん磨くことを大切にしてもらえたらと思います。習ったことを見直しながら、自分の腕を落とさないようにしてもらえたら嬉しいです。</li> <li>・子どもたちとのやりとりの中で、どういえば、こちらの意図が伝わるのか、どう返ってくるのかという難しさ、発達障害の子どもとのコミュニケーションの大変さを改めて実感しました。だけど、試行錯誤しながら、これからはどんどんつなげていけたらいいなと思います。</li> <li>・技術面よりも別の面でお手伝いしました。子どもたちが困ったり、つまづいた時に心配しないで誰かに尋ねたらいいよという安心確保の役割を果たしたように思います。表現しにくい箇所をフォローしてつなげてあげることができていたら、その結果、全員が最後まで残れたのであれば、とても嬉しいなと思います。</li> <li>・こんなだったら、もっと早くから一緒に来てたらよかったと思います。</li> <li>・子どもの特徴に新たな発見をし、ここまでこれたことを子どもにほめてあげたいし、家族でチームを組み、家族で支えていくことの必要性も感じました。今後をどうするかということも子どもと話していきたいと思います。</li> <li>・手が離れかかった年齢の子どもと新しい場所にきて、新しいことを一緒にできて、脳が少し活性化しました。</li> <li>・同じ発達障害を抱える仲間と接して、自分とは違うタイプの人がいること、自分の得意な分野が苦手な人がいれば、自分の苦手なことが得意な人がいるということを感じてもらえたらと思います。自分のできる範囲で仲間を手ダウs 家してもらいたいなと思います。</li> <li>・仕事についての考え方が広がりました。補い、支え合うことが必要だとつくづく思いました。</li> <li>・当初はここに来て何もできなかったのに、今日、子どもが一人で発表したり、手をあげたりして、周りの雰囲気を見ながら自分なりに学んでいることがよくわかりました。パソコンで先程、発表をしているのを見て、こんなことができたのかと正直、感激しています。</li> <li>・学校と部活とプロップと3本を両立できるのか、親がいつも同行できるかと初めは心配ばかりでしたが、自分一人でも来るようになり、時間の管理もできるようになりました。ここに来るために何をすればいいのかと考えるようになったのがとても有難いです。やろうと本人が思えば、見事に成長できることがわかり、親子共々びっくりしています。</li> <li>・ここにきて得たものはパソコンの技術ばかりでなく、学校以外の居場所です。自分が積極的にかかわれる場所ができて、ここにきてよかったと思います。本人が楽しんで遠くから通ってきたのがよかったです。</li> <li>・言われたことが自分だけでは咀嚼できず、作業につなげることが難しいので親ができるだけお手伝いして、ここまでできました。やっと講習が終わってほっとしていますが、他のご両親と親しく話をする機会をいただけてよかったです。</li> </ul>
MY	出席	出席	特になし	
NM	出席	出席	特になし	
YT	出席	出席	特になし	
OE	出席	出席	特になし	
KF	出席	出席	特になし	
HK	出席	出席	特になし	
TS	出席	出席	特になし	
EH	出席	出席	特になし	
SR	出席	出席	特になし	

んどんつなげていけたらいいなと思います。

・技術面よりも別の面でお手伝いしました。子どもたちが困ったり、つまづいた時に心配しなくても誰かに尋ねたらいいよと誰かを呼んでくるというような安心確保の役割を果たしたように思います。表現しにくい箇所をフォローしてつなげてあげることができていたら、その結果、全員が最後まで残れたのであれば、とても嬉しいなと思います。

・こんなだったら、もっと早くから一緒に来てたらよかったと思います。

・子どもの特徴に新たな発見をし、ここまでこれたことを子どもにほめてあげたいし、家族でチームを組み、家族で支えていくことの必要性も感じました。今後をどうするかということも子どもと話していきたいと思います。

・手が離れかかった年齢の子どもと新しい場所にきて、新しいことを一緒にできて、脳が少し活性化しました。

・同じ発達障害を抱える仲間と接して、自分とは違うタイプの人がいること、自分の得意な分野が苦手な人がいれば、自分の苦手なことが得意な人がいるということを感じてもらえたらと思います。自分のできる範囲で仲間の手助けを積極的にしてもらいたいなと思います。

・仕事についての考え方が広がりました。補い、支え合うことが必要だとつくづく思いました。

・当初はここに来て何もできなかったのに、今日、子どもが一人で発表したり、手をあげたりして、周りの雰囲気を見ながら自分なりに学んできていることがよくわかりました。パソコンで先程、発表をしているのを見て、こんなことができたのかと正直、感激しています。

・学校と部活とプロップと3本を両立できるのか、親がいつも同行できるかと初めは心配ばかりでしたが、自分一人でも来るようになり、時間の管理もできるようになりました。ここに来るために何をすればいいのかと考えるようになったのがとても有難いです。やろうと本人が思えば、見事に成長できることがわかり、親子共々びっくりしています。

・ここに来て得たものはパソコンの技術ばかりでなく、学校以外の居場所です。自分が積極的にかかわれる場所ができて、ここに来てよかったと思います。本人が楽しんで遠くから通ってきたのがよかったです。

・言われたことが自分だけでは咀嚼できず、作業につなげるのが難しいので親ができるだけお手伝いして、ここまでできました。やっとな講習が終わってほっとしていますが、他のご両親と親しく話をする機会をいただけてよかったです。

## DAISY製作図書タイトル一覧

・「たつの子震災」

「たつの子」HP より (<http://www.sanynet.ne.jp/~tatunoko/>)

・「DAISY を語る」

「財団法人日本障害者リハビリテーション協会、障害保健福祉研究情報システム」HP より (<http://www.dinf.ne.jp/>)

・「津波だ！いなむらの火をけすな。」

内閣府防災担当 HP より (<http://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top.htm>)

・「UD 防災」

人と防災未来センター

- ① 一章
- ② 二章
- ③ 三章

・「がんシリーズ」

国立がんセンター がん対策情報センターHP より (<http://ganjoho.jp/public/index.html>)

- ① 大腸がん
- ② 肺がん
- ③ 家族ががんになったとき
- ④ がんと心
- ⑤ 相談支援センターにご相談ください

・「河村宏講演集」

支援技術開発機構

- ① 河村宏講演集その8
- ② 河村宏講演集その14

・「忘れへんで」

震災文庫(神戸大学附属図書館)HP より

(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/directory/eqb/book/8-255-1/html/index.html>)

・「自閉症らいふ NOTE」

ひょうご発達障害者支援センター クローバーHP より(<http://homepage3.nifty.com/auc-clover/html/life.html>)

オープンスタンダードとオープンソースによる支援技術開発戦略の調査研究  
平成21年度 研究報告書  
平成22年4月発行

発行 特定非営利活動法人 支援技術開発機構  
〒182-0003 東京都調布市若葉町1-1-61-101  
TEL&FAX : 03-5384-7207  
E-MAIL : [atdoinfo@gmail.com](mailto:atdoinfo@gmail.com)

〒182-0003

東京都調布市若葉町1-1-61-101

TEL&FAX : 03-5384-7207

E-MAIL : [atdoinfo@gmail.com](mailto:atdoinfo@gmail.com)

特定非営利活動法人 支援技術開発機構  
(Assistive Technology Development Organization)

